

## 市長と語ろう！笠間タウントーク 第6回 議事録

**開催日時** 平成21年7月17日（金） 午後7時～8時30分

**開催場所** 稲田公民館

**参加者** 市民 31人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 学校規模の適正化について
2. 地元河川の清掃について
3. 稲田地区の土地利用について
4. 洪水対策整備について
5. 稲田中生徒の通学路の水たまりについて
6. 稲田中のクラス編成について
7. 福原地区にある住宅供給公社について
8. 区長が出した道路要望の回答について
9. 福原・稲田地区の公共工事について
10. イノシシの被害について
11. 笠間市への定住化促進について
12. 富谷稲田線について
13. お知らせ版の発行を月に2回にできないか
14. 個人所有の生活道路について

### 《内容》

1. 学校規模の適正化について

#### 【意見等】

最近、笠間市の学校の合併という文書を目にした。それについてどういう方向で進んでいくのかというある程度の目標があれば教えていただきたい。

#### 【回答】

合併という言葉は使っていません。規模の適正化ということで保護者にお配りしました。

国や県で、小学校は1学年2クラスで6学年まで12学級、中学校なら1学年3クラスで9学級という学校の適正規模を打ち出しています。

市も含め県内で、少子化で人数が下回っているところがかかなり出てきています。統廃合も含めて、現在のままがいいのか、どうなのか、検討すべきだという方針が出ています。市としても今後の少子化を勘案した場合に、今のままの小学校が14校、中学校が7校という体制がいいのか、場合によっては統合した方がいいのか。そういうことを今年から来年にかけて、PTAや地域の方を含めて検討委員会を作って話し合っていこうという内容の通知です。

検討委員会では、県や国では基準は決まっていますが、最初に笠間市の子どもたちを育てるには、どのくらいの規模がいいのかという笠間市での具体的な話し合いをしていきたいと思っています。

2. 地元河川の清掃について

#### 【意見等】

地元の河川の下に底打ちしてなくて、泥の島ができているということ、地元で何回も話が出ていて、要望書も出しているが、県の管轄でなかなか答えがでない。先日、市の道路整備課に行って話を聞いたら、上の福原の方からやってくるということだったが、それよりも、一度、河川の下に底打ちなど整備をしてほしい。

#### 【回答】

市内の河川は、中山間地域ですから、山あいから流れてきて、どうしても土砂が溜まってしまうということがあります。稲田川を含めて市内あちこちにそういう要望はあります。市としては、県に話をつなぎ、やってもらっている状況なのですが、県も今の財政状況の中では、なかなか要望を全部かなえるだけの工事ができない状況です。21年度については、土木事務所から話をうかがっているかぎりでは、

福原の新蔵前橋の上流をやるという話は聞いています。

【県議の話】

河川の土砂に関して、県の方でも結局、取った土砂をどこに捨てるかというのが一番の問題です。さらった土砂を持っていくところがあれば、市の担当者と話しながら、県に要請できると思います。

【意見等2】

その捨てる場所に関して、石材業の採掘跡地で池になっているところがある。そこには捨てていいと思う。かなりあるので、利用してみてもどうか。

【回答2】

できないことはないですけども、残土の扱いになって、法律的には難しいところがあります。穴が開いているから埋めていいということにはならないです。

### 3. 稲田地区の土地利用について

【意見等1】

稲田というところは、地主が特定して土地を持っている。借地になっていると、どんどん離れていく。知り合いで土地を探している人がいたが、市の所有の土地をなるべく低価格で販売してもらえないか。

【回答1】

市の土地はあちこちに、一等地からそうでないところと、いろいろあります。有効活用を図れるところや隣接する人に買ってもらったほうがいい部分がありますので、地元で市の土地が隣にあるので払い下げてくれないかと具体的な話があれば、不動産の鑑定の中での価格設定を元に、多少、柔軟に考えながら対応をしていきたいと思っています。

【意見等2】

それに関連して、市民がわかるように、市所有物になんらかの看板を立ててもらいたい。市の所有の土地というのは、意外にわからない。公に示してもらえればありがたい。

【回答2】

部分的にやっているところはあります。公共物の処分するところには金額も表示してあります。市の土地全部にというのと相当な数になるので難しいですが、できるだけ表示はしていきたいと思っています。

### 4. 洪水対策整備について

【意見等】

河川改修と基盤整備について、大古山（笠間地区）の河川はちょっとした雨で洪水になってしまうので、一日も早く整備をしてほしい。見通しがわかっていたら教えてほしい。

【回答】

大古山（笠間地区）地区に関しては、土地改良と河川と来栖の方に行く県道と、3つを一体的にやるということで、地元の合意形成が取れたので、できるだけ早く進めていきたいと思っています。着工は平成23年度です。着工後は、できるだけ短期間にやっていきたいと思っています。

### 5. 稲田中生徒の通学路の水たまりについて

【意見等1】

稲田中学校に通う子どもたちが正式な通学路ではなく、通学路と同様に使っている河川敷で、土地改良でできた稲田川の堤防敷が4mに広がったところがある（場所は、国道50号線に歩道橋があり、それから本戸に行く西念寺前の道がある。そこから、稲田の駅の方に向かっていく河川敷の道路）。そこは、水たまりができてやすく、子どもたちが自転車で水たまりをよけながら通学しているのを見ている。今回の緊急経済対策事業の農地利用支援対策事業で、土地改良で一部170mくらいは舗装してくれると聞いたが、その延長約300m、砂利道で、隣接の農家が草刈をして管理をしているところを、簡易舗装でもいいので舗装してほしい。

【回答1】

河川敷の管理用道路は、基本的には舗装はできません。土地改良をしてエリアに入れて、農道敷が張り付いている部分を舗装するということだと思います。

【意見等2】

河川敷の舗装の部分はせいぜい1mくらいしかない。その部分ではなくて、中学生が通学に使っているところが、水溜りになっている。毎年市に話して碎石は入れてもらっているが、もっときれいに整備してくれればいいのではと思う。

**【回答2】**

よく現地を見てみます。

そこは、前から子どもたちが通学路として通っている道路ですか。

**【意見等3】**

正式な通学路は国道50号線の法下にある幅1m50cmくらいの道路だが、小学生と自転車に乗った中学生は同時には危なくて走れないので、いきなり中学生は50号線の河川下に抜けて、そっちを通学路に使っている。

小学生は50号線沿いをまっすぐ歩いたほうが近い。中学生は農道を通ったほうが近い。

**【回答3】**

即答はできないので、現地を確認してみます。

6. 稲田中のクラス編成について

**【意見等】**

稲田中学校は今年度の新生が40人で、今まで2クラスだったのですが、1クラスになってしまった。2クラスあって、運動会の応援や文化祭の合唱コンクールなど、競い合って磨かれている部分も多いと思う。40人学級という法律があること自体は分かっているが、実際、学校の教室はいっぱい余っているし、先生になりたい方もたくさんいる。先生の給料は大変かもしれないが、設備そのものは増やすことなく運用・運営はできると思う。なんとかならないか。

40人を20人ずつ2つに割ることができれば、いいのではないか。今、稲田小学校は6年生から1年生まで、各40人くらいで、中学校にあがるときに私立に行ってしまう子もいるので、どうしても減ってしまう。だから、そこをクリアすれば、ここ数年は、2クラスのままいけるのではないか。

こういう要望は個人的にするのではなく、やはり、小学校と中学校のPTAが連絡を取り合って、PTAという組織を使って、市に要望するべきだとは思っているのだが、その辺について、話をいただければと思う。

**【回答】**

稲田小・中学校だけでなく、笠間市全体で、小学校14校、中学校7校ありますが、41人というぎりぎりのクラスは、たくさんあります。一番苦勞するのは、教員の人事異動で、41人のままだったら2クラスになるのですが、それが40人になったら、貼り付けた先生にどこかへ行ってもらわなければなりません。

なぜ40人かという、教員の給料は国が3分の1、県が3分の2を出しています。要するに国庫負担法があるので、国は際限なく教員を増やせないで、40人という基準を決めているわけです。40人を2クラスと分けるといえるのは、日本全国では、ものすごい数の教員を増やすことになります。何人なら一番いいのかということは厳しいのですが、茨城県の1クラスの平均は27人くらいです。どこで学ぶかは選択の自由ですので、私立に行く子どもたちもいます。そういう子どもたちにも「稲田中がいい、笠間市の中学校がいい」と選ばれるような学校経営をしていくということを、一生懸命やっています。

**【意見等2】**

稲田中学校はいいということが、稲田小学校のPTAに伝わっているかどうか分からない。交流会などをやっていないので、そういうことも必要じゃないかと思った。

中学生を急に作るというわけにはいかない。大郷戸が昔は不便だったのが、今は道がよくなったので、ほぼ稲田寄りになったが、学区を切り替えるということは難しいことなのか。

**【回答2】**

学区を切り替えるというのは、切り替えられる皆さんすべての了解ができれば、ぜったいだめだということにはなりません、学区を変えるというのは非常に厳しい部分があると思います。

こっちが足りないから、こっちにもってこようというのは、なかなか理解は得られないかと思えます。

競争などいろいろ考えると2クラスの方がいいという考えは分かります。国は教員を増やす余裕はない。それなら市独自で増やせばいいだろう。そういうことも可能です。東小学校は複式学級のところですが、教員を1人雇って、複式学級ではないようにしています。ただ、41人42人という学級は非常に多い。それが、2クラスになったとき、市が全部教員を配置していくのは、正直言ってなかなかできません。今の国の制度の中で、やらざるを得ない状況です。

**【意見等3】**

行政の人を動かすために、PTA側からもっと積極的に発言、要望を出していく必要があると思う。

## 7. 福原地区にある住宅公社について

### 【意見等】

何年か前から福原の地域に県の住宅供給公社が開発をしているが、順調に進めばかなりの人口増になると思うが、今は休止のような状態である。見通しを教えてください。

### 【回答】

基本的には売り出しているが、いっこうに買い手がないというのが現状です。市としては、一方を商業施設でもいいと用途変更はしているので、企業誘致ができないか活動しているのですが、現状ではなかなか見つからないです。

買った土地ですので、金利などを考えると売ってしまっただろうかと考え、住宅供給公社もその考えに傾いてきています。安く売るとなると、どこまで安くするかという金額的なものが出てこず、市でも、受託など何かをすることが、稲田小・中学校の子どもの減少に歯止めをかけることになるのではと思います、なんとか誘致したいと考えています。

## 8. 区長が出した道路要望の回答について

### 【意見等】

区長なので、道路の整備の要望を市に届けている。しかし、財政難、件数が多いというのがだいたい市の返事である。それならばいつ回答がでるのか。安心・安全の立場を考えるなら補助金なども活用して、地域住民の要望にこたえてもらいたい。

### 【回答】

道路の予算はきちんと確保しています。ただ、予算に対して、要望が多すぎるということはありません。市の全体の考え方としては、合併したことによって3つの地域を結ぶ中心的な道路に、例えば合併特例債などを使って、整備をしています。

地域の生活道路については、「舗装をしてくれ、U字溝を入れてくれ、道を広げてくれ」という要望は毎年150件くらい上がってきています。それを単年度では処理しきれません。通学路や危険なところ、前々から要望をされているところに優先順位をつけてやっていくという形になってしまいます。

複数の要望を出すときには、地域の皆さんにとっての優先順位を合わせて出してくれるとありがたいと思います。

## 9. 福原・稲田地区の公共工事について

### 【意見等】

福原は、極端に言えば市の突き当たりだ。稲田・福原辺りで、今、公共工事をやっているのを見たことがない。宍戸、岩間、友部は大型公共工事ばかり。そういうところから少しもらえないのか。地域住民のためにやっていただきたい。

### 【回答】

笠間地区では友部・岩間地区に公共工事が多く、友部地区では、笠間・岩間地区に多いように感じるという話を聞きます。隣の芝生は青く見えるかどうかは別にしまして、実際の話をしめすと合併後、今後4、5年で一番公共工事が多い地区は岩間です。次が友部、次が笠間です。これは、社会資本の整備など全体のレベルを引き上げることが、合併の効果であり、今はその時期だと考えているからです。できるだけ公平性を確保していきますが、2、3年ではなく、もう少し長い目で見てほしいと思います。

## 10. イノシシの被害について

### 【意見等】

イノシシの被害がすごい。ジャガイモやヤマイモがやられたという話をよく聞く。イノシシ対策は地域全部でやらないと意味がなく、猟友会の人々の協力で駆除の期間を延長してやっているが、はたして効果が出ているのかなという感じもする。対策として、電気柵を作るなど何かあると思うが、そういう補助はどうなっているか。

### 【回答】

わなの講習の費用やわなの補助をしています。電気柵の補助も出しています。田んぼをいくつも持っている人が、全部設置できるような補助ではなく、大きな額ではありませんが、出しています。

猟友会の方たちが駆除隊を作って、だいたい駆除はしてくれていますけど、追いつかない状態です。

### 1 1. 笠間市への定住化促進について

#### 【意見等】

クラインガルテンの卒業生で、山小屋を建てて住みたいということだったが、合併の際、笠間市全体に都市計画の網がかかり、どこでも確認申請をしないと家を建てられない。いくつか山があるが、農道の先の方では、家が建てられない。あきらめて、別の市に建てたということがある。

畑つきの住宅、農家づくりのところに住みたいというニーズはあるが、実際、不動産屋は安すぎて扱わない。個人では情報量が少ないので、行政の力を借りたい。卒業生に、市の余っている土地を売る。宅地として売り出しているが半分は畑にして、宅地と畑セットにして売り出すなどできないものか。市として、どういう情報提供をしているのか。

#### 【回答】

クラインガルテンは9年目に入り、本戸周辺が多いのですが、すでに13軒が土地を借りたり、古民家を買ったりしています。

首都圏に近く、歴史・文化・芸術があるというのが魅力になっていますが、利用希望者との接点をどうするかが問題です。いろいろな仕掛けづくりを考えています。13人の方は地元の農家との交流が深かった方です。市では、クラインガルテンの玄関に空き屋などの地域からの情報の張り紙をしています。それより利用者はコミュニケーション、地域との交流の中で情報を得ているようです。市は間に入って、コミュニケーションを図るような仕掛けづくりをしていきたいと考えています。

また、クラインガルテンの関係者に限らず、笠間市への定住化の促進を進めていこうと思っています。そのためには公共の土地を公売など、いろいろな情報を定住化促進の中で提供をするというのが第一に必要なと思っています。来年度に向けて検討していこうと思っています。

#### 【意見等2】

市営住宅や土地開発公社が積極的に事業をやるのは民業圧迫になりかねないと思う。政策効果を考えた補助など、民業も活性化するよう工夫をして進めていってほしい。

### 1 2. 富谷稲田線について

#### 【意見等】

稲田駅から、信号機があり、そこから稲田沢に行く道路（富谷稲田線）で、くねくね曲がっている道路がある。以前から直すということだったが、いつまで経っても直らない。どういう計画になっているのか。

#### 【回答】

そこは国の予算があまりつかない、県単独の道路です。道路でも、国の補助がつく道路とつかない道路があり、その道路は交通量の関係からついていません。県も考えてくれていて、毎年切らさず予算を付けていてくれています。地元の人には、いつまでかかるのかと思うところですが、少しずつでもやっていくのが現在の状況です。一生懸命お願いをしていきます。

#### 【県議の話】

今年は、水戸土木と話をしたのですが、土地買収が進んでいないところが何か所もあり、土地買収が済み次第、少しずつやるということ。50mでも100mでもいいから、途切れないでやってほしいと話しています。

### 1 3. お知らせ版の発行を月に2回にできないか

#### 【意見等】

区長をやる人が年々いなくなっている。回覧版の回数を月に2回ぐらいにできないか。毎週読んでいる人はいるのか。集約してほしい。

#### 【回答】

回覧板の中の資料が多いという意見はいただいています。

月2回ですと、的を射た情報がリアルタイムに出せず、住民にお知らせできないことがあります。

行政は知っている情報は知らせようと思っています。知らせようと思うがゆえに増えてしまったり、合併後3地区の情報が集まったので、情報量が多くなったりしている部分があります。

### 1 4. 個人所有の生活道路について

#### 【意見等】

中野石材から石を運ぶのに使った「トロ道」が、今、3軒が使っている生活道路になっているが、個

人所有の道である。以前に笠間支所の道路整備課に相談したが、そのままになっている。税金は、所有者個人に来ている。道の奥に所有者の田んぼがあるので、3軒に地代を請求はしていないようだが、将来的にそのままというのは問題ではないか。水道も途中まで入ってストップしている。

**【回答】**

住んでいる3軒の方に、知らなかったようなので、個人所有だと説明をしました。

解決するには、一番は市に寄附をしていただくのがいいのですが、3軒の方で地代を払うか、買って市に寄附をしていただくかです。

明快な回答はできませんが、税金の免除は可能だと思いますので、手続きの仕方を後で説明します。